

## 目標達成計画

作成日: 平成 23年 7月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	46	安眠や休息の支援 1日の流れの中で、夕食後から入眠に至るまでのナイトケアが不十分である。夕暮症候群等の不安や混乱を和らげ、落ち着いた状態で休める環境が必要である。	夕食後の不安軽減。	遅出勤務の職員を1人から2人に増員できる日をつくり、ケアの体制の充実を図る。	2ヶ月
2				夕食後、一人は口腔ケア・パジャマ交換をして、もう一人は、入浴等のケアに入る。 特に今までの生活暦をヒントに、寝る前に入浴されていた方など、入所前の生活になるべく合わせていく。	12ヶ月
3				夜間の居室における入眠までの時間を安寧に過ごして頂けるよう安全確認をする。 特にADLが高く、認知症の重度の方を見守りする。	12ヶ月
4	45	入浴を楽しむことができる支援 事情所の都合ではなく、生活習慣や希望にあわせた入浴ケアが必要である。	夜間入浴の導入。	遅出勤務の職員を1人から2人に増員できる日をつくり、夕食後の入浴を実施しさっぱりとして休めるようにする。	12ヶ月
5			日中の入浴が嫌な方など、希望に合わせたケアができる。	遅出勤務の職員を増員することで、ご利用者の希望時間帯に合わせた入浴を提供し、夜間ケアの充実を図る。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。